

宗 像

遷宮で結ぶ人の輪心の輪 第六十二回神宮式年遷宮

平成二十三年・辛卯かのとつ

年頭挨拶



宗像大社 宮司 高向 正秀

皇紀二六七一年、平成二十三年・辛卯を迎え謹んで、新年のお慶びを申し上げます。年頭にあたり、皇室の弥栄と国家の安泰、また氏子崇敬者の皆様方の安寧をご祈念申し上げます。

旧年中は、氏子崇敬者皆様方のご奉仕ご協賛を賜り、諸祭儀恙無く斎行出来ましたことに衷心より御礼を申し上げます。

昨年末には、当大社における永年の懸案でありました参拝者用の境内トイレが竣工、また一ノ鳥居から本殿への参道

の一部を大幅に拡幅し、本年の初詣ご参拝の皆様には幾分か混雑も解消され、清々しくお参り頂けたのではないかと感じております。

さて昨年は、教育勅語が明治天皇様により渙発され百二十周年という記念すべき年でもありました。教育勅語には、明治天皇様が我が国伝統の道徳教育が軽視される情勢を憂慮され、連綿と培われてきた日本人の豊かな感性と美徳を示し、生きていく上で心掛けるべき十二の徳目として記されています。

しかし、当時、諸外国にも評価された教育勅語が戦後学校教育の中から排除された結果、様々な深刻な問題が生じています。特に子供の虐待、所在不明問題を始めとする独居高齢者の増加等は「父母二考二兄弟二友二夫婦相和シ朋友相信ジ」の一節を鑑みるとき、これらを象徴しているように感じざるを得ません。我々は祖先の遺訓を再認識し、子孫へ伝えていくためにも、今こそこの教育勅語を改めて見つめ直してみることが必要ではないでしょうか。

また、尖閣諸島沖漁船衝突問題、ロシア大統領の北方領土視察、朝鮮半島の緊張

など、国家の存亡を危惧すべき、傍観出来ない事案も続出しました。特に領土問題に関しましては、国の威信と誇りを失し、曖昧な決着を図り、問題の本質と責任を転嫁したとしか思われない現政権には国家国民を守る覚悟が欠如しているのではと感じます。国政執行者やマスコミが看過する数多くの領土問題をも含め、私共は文化と国土を失うことは国家の滅亡に等しいという事を自覚し、世論の形成に邁進すべきかと思慮いたします。

神社は我が国の文化と伝統、そして民族の精神を変わることなく今日まで継承してまいりました。それ故に、祭りを通じ、家族・地域社会の絆を深めて頂くためにも、其々の地域で神社の果たす役割には大きなものがあると考えております。今後も職員一同力を合わせ神明奉仕に励んでまいります。今後とも氏子崇敬者皆様方のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新年が皆様方にとって希望に満ち溢れた良き、美わしき年となりますよう心からお祈りを申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

宗像大社責任役員会

- 代表役員 高向 正秀
責任役員 出光 昭介
松尾 新吾
長尾 亜夫
麻生 豊泰
田中 浩二
清水 晃
谷 正明
伊東信一郎
松井 参伍
松本 正敏
清水 照生
安部 千生
佐藤 俊基
寺島 俊基

宗像大社氏子会

- 監事 藤田 茂令
橋本 敦男
置舘 玄二郎
会 長 古賀 善徳
副 会 長 松井 幸夫
監 事 中村 昇
城野 寅夫
瀧口 和彦
安部 正弘
小島 實
古賀 敏理
沖西 敏明
坂口 嘉一郎

宗像大社職員

- 名譽宮司 義父 可愛 守
宮司 高向 正秀
副 宮 司 堤 宏
菅 津 幹之
渡邊 秀丸
杉山 安彦
佐々木 大治
中原 裕生
坂本 敬
御床 直之
大塚 宗延
長友 貞治
壹岐 貴寿
松林 拓
吉野 理
鈴木 祥裕
日高 庸介
船越 裕介
小方 麻紗美
松崎 愛里
藤原 理加
石井 あゆみ
岡田 華代子
澤崎 有希
田中 志保
山口 詩織
高田 優
神野 彩

宗像大社職員

- 学芸員 石田 遥花
事務員 山下 奈美
事務員 沖西 彩香
事務員 重住 真貴子
事務員 石津 典秀
事務員 吉武 律子
事務員 井上 純子
事務員 奥宮 種男
事務員 深田 仁
岩佐 光二
吉田 弘
阿部 和代
竹本 百合子
七田 かよ子
非常勤管理員 力丸 正輝
非常勤管理員 藤島 ツタエ
非常勤管理員 藤田 行子
非常勤管理員 吉田 達子
非常勤管理員 吉田 義秀
非常勤管理員 岩佐 義雄
非常勤管理員 中野 正幸
非常勤管理員 砂場 一明
非常勤管理員 石井 忠
非常勤管理員 河津 奈津子
非常勤講師 花田 みどり
非常勤講師 大西 晶子

年頭挨拶



福岡県知事
麻生 渡

あけましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進活動に、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成21年1月に「宗像・沖ノ島と関連遺産群」がユネスコ世界遺産暫定リストに記載されて以来、福岡県、宗像市、福津市は、市民団体、経済団体、文化団体等の皆さまと「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を設置し、世界遺産登録に向けて官民一体の取り組みを推進しています。昨年は、国内専門家の会議に加え、世界的な観点から本遺産群の価値

を検証するため、海外の専門家を招き、2回の国際専門家会議を開催しました。今後も国内外の専門家の意見をお聞きしながら、世界遺産登録に向けた課題を克服するとともに、本遺産群の普遍的な価値を証明するためさらなる学術的研究を行ってまいります。また、本年2月には、国内における本遺産群への関心を高めていくため、東京で国際シンポジウムを開催します。専門家の声を盛り込み、確実に本遺産群の価値を発信してまいります。

世界遺産登録に向けて県民の機運を盛り上げることが、登録推進活動の大きな原動力となります。昨年は福岡市において、本遺産群の公開講座や写真パネルの展示、3D映像の上映など、広報活動を積極的に展開し、神秘に包まれた沖ノ島について、多くの皆さんに関心を持っていただくことができました。また、宗像青年会議所のご協力により、子どもたちによる市民参加型ミュージカル「むなかた三女神記」の歌やダンスが披露され、大勢の観客で賑わいました。

さらに、「宗像・沖ノ



島と関連遺産群」世界遺産応援大使として、福岡県出身の歌手である森口博子さんにご就任いただきました。森口さんの協力を得ながら、本遺産群のさらなる知名度向上を図ってまいります。

世界遺産とは、国や民族を超えて人類が共有すべき遺産であり、かけがえない財産として、次の世代に受け継がれていくべきものです。本遺産群は、今日まで宗像大社をはじめ地域の皆さまの信仰に支えられ、受け継がれてきたすばらしい遺産です。本県の誇りであるこの遺産を世界の遺産として登録するため、今後も、皆さまとともに着実に活動を推進してまいります。一層のご協力を賜りますようお願いいたします。皆さまにとって、本年がすばらしい年となりますよう心から祈念いたします。



画像情報企業
株式会社 ゼネラルアサヒ
〒812-0064
福岡市東区松田3丁目777番地
TEL 092-611-8311

GA
デジタルグラフィックス研究所
宗像市アスティ1丁目5番地



kinko's®

年頭挨拶



宗 像市長
谷井 博美

あけましておめでとうございます。輝かしい平成二十三年の初春にあたり、皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より宗像市政、とりわけ「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進活動に格別のご理解とご協力を賜り、あらためて厚くお礼申し上げます。

さて、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、皆様ご存知のとおり一昨年一月にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。このことは、本遺産群の崇高で普遍的な価値が、内外にあらためて高く認められたゆえんであり、大変喜ばしい出来事でした。これもひとえに、宗像大社が今もなお受け継がれている伝

統や信仰を守り続けられ、本遺産群の世界遺産登録活動に対し、ご理解とご協力をいただいている賜物であると、あらためて深く敬意を表します。

宗像地区は古代から悠久の歴史を持つ宗像大社を中心として発展してきました。宗像の歴史は宗像大社を抜きにしては語る事ができません。宗像大社は、まさに先人が私たちに残してくれたかけがえない貴重な財産であるといえますし、宗像地区では今日でもお互いが強い絆を持ち、一体となった住民の生活圏が形成されています。

このような宗像大社を中心とする関連遺産群を保全し、後世に継承していくため、ならびにここ宗像地域にある貴重な歴史、文化、自然を再認識してもらい、市民自ら地域の誇りと愛情をもつて引き継いでいってもらうためには、世界遺産登録活動をより一層推し進めていかなければなりません。昨年九月には「宗像・沖ノ島世界遺産市民の会」が設立されるなど、市民活動も活発になってきていますし、今年の二月には世界遺産国際シンポジウムが開催される予定となっています。また、森口博子さんに世界遺産大使に就任いただくなど、大きなお力添えをいただいています。このような市民と応援団の力を結集するとともに、引き続き福

岡県、福津市、宗像市が一体となり、活動に取り組んでまいりたいと存じます。

また、昨年来宿題となっている顕著な普遍的価値の証明や、文化庁から与えられた課題の解決など、更なる学術的な調査研究も必要であり、宗像大社をはじめ、専門家や関係機関の皆様には今後ともご意見、ご助言をいただきながら世界遺産登録に向けて歩んでまいります。宗像大社におかれましては、今後とも引き続き世界遺産登録活動並びに本遺産群の保全保護に対し、温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、宗像大社におかれましては、本年平成二十三年もより一層のご繁栄の年となりますことを祈念いたしますとともに、御崇敬の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし、年頭のごあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



22.01.29 世界遺産専門家会議現地視察



22.05.30 世界遺産推進会議

暮らしの真ん中に



西日本新聞社

[http:// nishinippon.co.jp/](http://nishinippon.co.jp/)

- 本社 福岡市中央区天神1丁目4番1号 〒810 - 8721
TEL 092(711)5555(代) FAX 092(711)5152
- 北九州本社 北九州市小倉北区田町19 - 5 〒803 - 8515
TEL 093(561)1131 FAX093(561)7793
- 東京支社 東京都中央区八重洲2-8-7福岡ビル 〒104 - 0028
TEL 03(3273)8585 FAX03(3273)8586
- 大阪支社 大阪市中央区北浜3-1-21松崎ビル 〒541 - 0041
TEL 06(6202)6351 FAX06(6202)6356

表参道に新しいトイレを竣工

参道拡幅工事も終え、
神社に相応しい景観となる

既報の通り進められていた祈願殿横表参道の拡幅工事及び、トイレ新築工事が完了し、十二月二十日竣工祭が執り行われ、参道幅は従来の三倍となる15mに、自動ド

アの出入り口や洋式便座、障害者専用のトイレを備えた、お年寄りや家族連れなどに配慮した最新式のトイレとなった。

延床面積は、133・62㎡の40・5坪で、総杉材を用いた木造平屋建て、建築費用6、500万円で内外装とも重厚に仕上げられている。

竣工祭当日は工事関係者が参列し、トイレ及び参道の清祓を行った後、本殿で奉告祭を斎行、祭典後には高向宮司より工事に尽力された河上信行建築設計事務所、河上信行氏、榊弘江組の中野順氏、内山緑地建設の内山剛敏氏、榊深田組の深田和也氏に感謝状と記念品が贈られた。

新しいトイレは、多目的トイレやベビーカーチェアはもとより、全ての出入り口を自動ドアにしている。

さらに日常の手入れや、施行後のメンテナンスを重視



第1駐車場からの遠望。写真左より第一鳥居、新しく竣工したトイレ、第二鳥居、祈願殿(右端)

した設計となっており、配管は埋設ではなく空中配管とし、壁の中に管を設置、内壁はコンクリートではなくパネルにすることにより、交換が安易に出来る方式である。

男子トイレに小便器四基、大便器二基、女子トイレに左右四基ずつ八基を配置し、参拝者の少ないときは左右一方の四基を使用、混雑時には八基を全て使うレイアウトにすることにより、掃除等日常の負担軽減

あなたのいちばんに。
FFG 福岡ファイナンシャルグループ

明けましておめでとうございます。
今年もよろしく
お願いいたします。



福岡銀行

宗像支店 宗像市東郷5-4-5 TEL 0940-36-2017 赤間支店 宗像市土穴2-1-17 TEL 0940-33-7211



を可能としている。
 一方、表参道の拡幅工事は内山緑地建設㈱と㈱深田組により、トイレの解体・建設工事と並行して進められた。
 従来、大駐車場から斜めに御本殿に向かう形であったが、祈願殿前の植木を後退させ、既存の施設を撤去するなどの整備が行われた。これに伴い、植木を数本移動させなければならなかったが、丁寧に清祓を行い別の境内地に移植された。



これまで正月や秋季大祭時に露店が並ぶと、参道幅が非常に狭くなり、混雑していた場所であったが、拡幅や整備により混雑軽減を見込んでいる。
 永年の懸案であったトイレが完成、参道も整備されたことにより、第一、第二鳥居周辺は見違え神社に相応しい景観となった。
 神社職員一同、新たな気持ちで新年を迎えることができ、参拝者の皆様にも清々しい気持ちでお参りして頂けると考えている。ご参拝の折には是非一度ご利用下さい。

奉告祭後、宮司より感謝状を受ける施工業者の方々



エアコンの
取付工事も
OMAKASE!

キッチンの
リフォーム工事も
OMAKASE!



お風呂やトイレ
配管工事も
OMAKASE!

床暖房の
工事も
OMAKASE!

住まいのことなら、何でもおまかせ。



本社:福岡市南区那の川1-23-35 〒815-0081 TEL 092-523-1691 <http://www.kyuden.co.jp>

平成23年 元旦 明けましておめでとうございます。

古式祭・鎮火祭齋行

古式祭

師走十二日(日)、八五〇年の伝統を持つ「古式祭」が斎行された。

この神事は神前で行われる祭典と、清明殿で行われる「御座」の二つで構成され、神饌(御供え物)は神職だけではなく地元宗像市田島・江口区民、地元総代等が一丸となつて調製し、御座は田島区内八班の氏子が毎年交代で奉仕する(今年は片脇班)という宗像地方独自の神事である。



古式祭【御座】

祭典はまだ夜が明け

ない暗闇の午前六時、前日から参籠した高向宮

司以下神職が奉仕し、宗像市田島・江口両区長、片脇班長、置鮎氏子会長が参列し齋行された。

また、神職だけではなく御座を奉仕する片脇班の男性七名も参籠を行い、清明殿での奉仕にあたった。

御神前にはミカンの原種である「九年母」、同市の浜にこの時期しか打ち上がらない「ゲバサモ」と呼ばれる海藻など、この祭典だけに調製された特殊神饌が供えられた。

一方、清明殿入口には午前五時頃より、同六時の「御座」受付開始を待ちわびる参拝者の列が出来た。一番座は祭典後の午前六時三〇分から一座五十名で始まり、地元田島区内から二十二名、田島区以外からは約一六四名、計一八六名の方々が参列され、五番座まで

行われた。

膳には特殊神饌として神前に供えられたものや、田楽・ガメ煮・甘酒・なま酢などが並び、参列者は平素口にするのでできない御膳に舌鼓を打ちながら、宗像大社・氏子が受け継ぎ・守り続ける神人和楽の一時を過ごした。

鎮火祭

同日午前十時からは鎮火祭が斎行され、古式ゆかしく火打石で忌火を起こし、瓠(かぼ)で水を汲み火に注ぎ忌火を鎮め、その上に赤土をかけ川菜で覆う「鎮火の儀」が行われた。

迦具土神の荒びを鎮め、その災いを受けることの無いようにと、火災の絶無と消防関係者の安全を祈り、谷井宗像市長、小山福津市長をはじめ、両市内の消防関係者、山田・阿部両県議会議員、篠崎宗像警察署長、置鮎氏子会長らが参列し、敬度な祈りを捧げた。



鎮火祭

謹賀新年

新しい年が素晴らしい一年となりますよう
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

2011年元旦

DyDo
Drink Message

ダイドービバレッジサービス株式会社
福岡東営業所
092-663-2310

ダイドードリンク株式会社
西日本営業部福岡オフィス
092-663-2171

ダイドービバレッジサービス株式会社
福岡南営業所
092-574-4642





十一月十八日午前十一時より、平成二十三年に向けての神宮大麻並びに宗像大社神符頒布始祭が、当大社祈願殿で高宮秀文宗像支部副支部長(諏訪神社宮司)齋主のもと厳肅に斎行された。この祭典を終えるといよいよ宗像地区内でも新年に向けた新たな神札の頒布活動が始動する。

当日は福岡県神社庁より波多野盾夫副庁長(仲宿八幡宮宮司)をお迎えし、阿部信宗像支部長(宮地嶽

『神宮大麻』 『宗像大社神符』 頒布始祭斎行

神宮(禰宜)をはじめ、宗像支部内の神職・氏子総代約一五〇名が参集、祈願殿は参列者で埋め尽くされた。

祭典の中で高宮齋主より頒布者を代表し「神宮大麻」は宗像支部神社総代会 沖宗利会長(福岡県並びに宗像支部神社総代会長)に、「宗像大社神符」は宗像大社氏子会置舘玄二郎会長へとそれぞれ授けられ祭典は滞り無くおさめられた。

祭典後、清明殿へ場所を移し式典が執り行われ、そして平成二十二年、永年に亘り斯界に寄与された神社功労者の表彰伝達式が行われ、波多野副庁長より各被表彰者へ手渡された。

そして、宗像支部神社総代会沖

会長より、今一度神宮式年遷宮にたいする奉賛活動の更なる協力を参加の総代の皆様にご協力をお願い、今年の神宮大麻並びに宗像大社神符頒布始祭・式典の全てを終えると総代の方々は各地域分の神札を手に当大社を後にした。

福岡県神社庁

神宮大麻頒布功労者表彰

- ◆ 宗像大社氏子会 評議員 中村 直
- ◆ 宗像大社氏子会 評議員 佐藤 精一
- ◆ 八幡宮 責任役員 瀧口 幸男
- ◆ 牧神社 責任総代 奥 日出夫
- ◆ 須賀神社 総代区長会長 永島 正清

節分祭の御案内



本年も下記日程で節分祭を斎行致しますので、皆様振るってご参列下さい。

宗像観光協会主催 豆まき

1月30日(日)

◎豆まき 午前11時～午後1時

於=本殿横 特設舞台

2月3日(水)

◎節分祭 午前11時～

於=本殿

◎豆打ち式 午前11時30分～

於=本殿横 特設舞台

※両日とも少雨決行ですが、雨天の際は昨年同様、祈願殿にて祭典・豆まきを行います。



明けましておめでとうございます



SF CALL CENTER : 0570-07-3200
http://www.starflyer.jp

株式会社 スターフライヤー
代表取締役社長 米原 慎一

第15回 出光中堅社員研修 宗像大社合宿研修所感

出光興産株式会社 人事部教育課



十一月二十六、二十七日までの三日間、第十五回中堅社員研修の宗像大社合宿研修を実施させて頂き、三十六名が参加致しました。今回は海外店からの参加者が多く、中国、タイ、インドネシア、オーストラリア、ドイツからと、最近のグローバル化を反映したものとなりました。また今回、海外現地法人のアポロタイに勤務しているワンロップ・アムプンさんが、外国人従業員として初めて特別参加しました。

宗像大社研修は「日常生活と離れた神域に身を置くことで感性を高めること」「創業者・店主出光佐三が多大な影響を受け経営の原点とした日本特有の伝統文化に触れその思いを感じ取ること」の二つを

目的に行わせて頂いています。研修開始に際して、まず本殿での研修開始奉告祭を執り行い、研修中は神職の方と同じようにご奉仕させて頂くため、白衣白袴の着方や祭式作法からご指導頂きました。ほとんどの参加者が初めて経験することですが、懇切丁寧に指導頂き、神域に身を置いていられるという実感が高まってきました。



TOYOTA

福岡県トヨタ販売店グループ

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡トヨタ自動車株式会社

取締役社長 金子 直幹

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8番28号 電話(092)761-3331

トヨタカローラ福岡株式会社

代表取締役社長 有田 耕一

〒810-8603 福岡市中央区長浜2丁目1番5号 電話(092)712-7111

ネットトヨタ北九州株式会社

取締役社長 宮里 宣哲

〒806-0041 北九州市八幡西区皇后崎町14番6号 電話(093)642-2111

福岡トヨペット株式会社

代表取締役社長 山口 正俊

〒812-0008 福岡市博多区東光1丁目6番13号 電話(092)411-1121

トヨタカローラ博多株式会社

代表取締役社長 久恒 兼孝

〒812-0042 福岡市博多区豊2丁目3番50号 電話(092)441-2111

特にわが国の伝統文化である雅楽鑑賞では、楽器の音色が生演奏で聴けたことや、巫女さんによる神楽を目の前で拝見できるなど、感動を覚えました。

各班それぞれに神職の皆様に入って頂き懇談をする班別研修では、神職の皆様への飾りの無いお話(神様への気持ちから日常生活に至るまで)により、神道や宗像大社について理解が深まったと同時に、日頃疑問に思っていることが解消されました。

研修生からは「日本人として生きる上での原点を見つめ直し、自分に関する様々な人達に対する思いやりや、感謝の気持ちを大事に生



祭作法の講義



第三宮内の御垣内を清掃

きていきたいと感じた。「出光理念の基礎となる宗像大社を知り、日本人の精神文化の源流に迫ることを通じて、素直な心を持ち、今後の研修を受ける心構えが出来た。」等の感想が寄せられました。

二日目の鎮魂直前には急に雨が降り、急遽本殿で鎮魂を行いました。それが、それも雨でなければできなかった貴重な体験です。

研修生の事を親身に考えお世話頂きました宗像大社の皆様には心より感謝申し上げます。

最後に、宗像大社の益々のご繁栄をお祈り申し上げ、研修の所感とさせていただきます。

本殿、第二宮、第三宮 大注連縄を懸け替え

新年を迎えるにあたり寒風吹き付ける十二月九日、辺津宮本殿、第二宮・第三宮の新しい大注連縄が沖・中両宮奉賛会、同翼賛会の皆様のご奉仕により懸け替えられた。

十月初旬、神田で刈り取った稲を乾燥脱穀した後、田島地区元総代・協力会総出で藁すぐり作業を行い、一握り程の束約千五百本が大島へと送られた。

翼賛会のご奉仕により、釣り糸が等間隔で美しく巻かれた。

そして当日、完成した大注連縄は再び海を渡り、辺津宮へと運ばれ藁の香り漂う清々しい大注連縄が懸けられた。初詣参拝の折には、農家と漁師が真心込めて奉製した大注連縄をぜひご覧下さい。

大島では十一月下旬に、沖・中両宮奉賛会・同翼賛会のご奉仕により、釣り糸の魚を釣る大物の魚を釣り上げる時に用いる透明のテグス(釣り糸)が等間隔で美しく巻かれた。



研修を終へ神社職員の見送りを受ける研修生一行



【授与品と装束】

京都奉製株式会社

本社営業所 京都市左京区浄土市原町1291-25

電話 (075) 741-3221

フリーダイヤル 0120-164124

福岡営業所 福岡市博多区板付5-3-11

電話 (092) 592-3015



少林寺拳法奉納演武大会

十一月二十八日、午前
十時より当大社本殿横で
恒例の少林寺拳法奉納演
武大会が、大人から子供
まで約四十名が参加され
開催された。

我が国の少林寺拳法
は、宗道臣先生が大陸で
伝授を受け戦後広められ
たもので宗像地区でも各
所で教室が開かれ盛ん
に行われている。



独自の鎮魂の儀式があり
演武が始められた。

演武は、指導者・社会人
の部、福教大拳法部、少年
の部と三部に分かれ繰り
広げられた。指導者の演
武には、技法の成熟が伺
われ福教大生のそれには
若々しく力漲る姿があ
り、それぞれに拳法の素
晴らしさを伝えるものが
あった。

その中で何より声援が
上がったのはチビツ子拳
士による組演武であつ
た。技量はまだまだ未熟
であるが何とか相手を組
み伏せようとする姿に保
護者らから盛んに歓声が
響いた。

少林寺拳法も我が国の
武道として定着して久し
いが、今回参加の腕白肌



の少年拳士
の中から、
未来の指導
者・後継者
が数多く生
まれる事を
期待する。

第37回 宗像本因防戦

十一月二十一日(日)宗像本因坊戦(五・六段者)、
宗像大社奉納囲碁大会(初段〜五段)が、宗像・福津
両市内から二百名が参集し、斎館・清明殿で開催さ
れた。

囲碁大会は二十九組一七四名が参加し、初段〜五
段までを六人一組に別け、各組ごとに優勝者を決定
した。一方、宗像本因坊戦は文字通りその年の実力
ナンバーワンを決める大会で、五・六段の高段者十
六名(一人持ち時間四十五分、一戦九〇分)によるト
ーナメント形式で行われた。

盤側に集まった観客者は固唾を飲んで勝負の行
方を見守った。熱戦の末、連覇が難しいとされる宗
像本因坊戦で、前年度優勝の福永雅道氏(六段)が快
挙を成し遂げ、二連覇で幕を閉じた。はたして、連覇
がどこまで続くのか楽しみである。



成績は左記の通り
宗像本因坊
福永雅道(福津市津屋崎)
準優勝
石田徳房(宗像市)
三位
高田良昭(宗像市)

DTPデザイン印刷・WEBサイト制作・各種ムービー制作

(株)HSD エイチエスデー

〒811-3439 福岡県宗像市三倉17-1
TEL 0940-36-9012 URL <http://h-sd.co.jp>

株式会社 **ハーベスト警備**
福岡県公安委員会認定第581号

代表取締役 **坂上 正晴**
〒813-0044 福岡市東区千早5丁目21-2サンビル2F
TEL (092)673-0180 FAX (092)673-0190

福岡ダイハツ販売株式会社

代表取締役社長 **内山 邦彦**
〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目10番11号
電話(092)411-1330【代表】

理容とんぼ

〒811-3436
福岡県宗像市東郷5丁目5-10
TEL (0940) 36-2405

JAF 社団法人 **日本自動車連盟 九州本部**

本部長 **金子 宜嗣**
〒814-8505 福岡市早良区室見5-12-27
電話(092)841-7676【代表】

玄海灘を望む風光明媚な格調高いシーサイド・コース

玄海ゴルフクラブ

〒811-3502 福岡県宗像市江口578-18
電話(0940)62-2233【代表】
FAX(0940)62-2728

干支はりこ

新しい干支縁起物

干支絵馬

木型に紙を貼り、乾いてから型を抜き取ったものを「張り子(はりこ)」と申します。

張り子は動物や達磨、また幼児の玩具として親しまれてきました。おなじみの方も多いのではないのでしょうか。本年も干支張り子を縁起物として授与致します。

張り子の中に鈴の入った「紙音」、干支のうさぎが破魔矢を持った「破魔矢うさぎ」、首の部分が動く「首振りうさぎ」の三種類です。

干支はりこ
(首振りうさぎ)
初穂料 1,000円



干支はりこ(破魔矢寅)
初穂料 700円



干支はりこ(紙音・鈴入り)
初穂料 500円

絵馬は本来神社に奉納する馬絵の額ですが、後に祈願や奉謝の気持ち、或いは時代の象徴として様々な画題が描かれるようになりました。そして今日では安寧の願としてご家庭、職場にも奉斎(ほうさい)いただいております。

今年の干支「うさぎ」をモチーフに、縁起の良い白いうさぎに、子孫繁栄の願いを込め親子で描かれています。

裏面に願い事を記し、境内「絵馬堂」にお掛けいただいても結構ですし、(大)は木製の足も付いておりますので、ご家庭や職場で奉斎し平穏な幸多き一年をお過ごし下さい。



干支飾り絵馬(大)箱入り・足付
初穂料 1,000円



干支掛け絵馬 初穂料 500円

いずれも、本殿・祈願殿授与所でお受けいただけますし、新春「福みくじ」でも景品として当たります。

平成23年度 新春福みくじ 1冊 500円

玄海ホテル旅館組合

玄海国定公園の中心
—風光明媚、生魚料理、宗像大社となり—

玄海ロイヤルホテル ☎(0940)6214111

国民宿舎ひびき ☎(0940)6211288

みなと荘 ☎(0940)6212555

松風荘 ☎(0940)6210120

御宿はなわらび ☎(0940)6210107

高嘉旅館 ☎(0940)6211221

玄海旅館 ☎(0940)6210001

魚屋別館 ☎(0940)6213355

魚屋本店 ☎(0940)6212122

第五九三回 宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メロ



北九州市 八幡西区 豊田 光子
 ここだけは時間がゆっくり過ぎてゆくプールの中の歩く領域
 作者の心を流れる時間。下の句を「プールの水中歩
 行領域」にすると、より分かりやすくなる。

うきは市 浮羽町 向 則正
 ひとり居の米寿の伯母はすこやけき洋画好みて友人多し
 お手本にしたい伯母様。三句は終止形「けし」にし
 て三句切れに、結句を(多く)。

宗像市 土 穴 山本 静子
 口べにをひきたる様に山茶花のつぼみのいくつ十月の尽
 艶な表現。四句は「つぼみほころぶ」としては。

福津市 若木台 山崎 公俊
 参拝をすませ若きら賑はへり鯉に餌をやりその鯉よりも
 鯉と若者の比較が面白い。作者のちよつと皮肉な目か。

北九州市 八幡東区 永田久美子
 我が家の自慢の眺め夢と消え菓箱吊るして小鳥は待つ日々
 新築ビルに隠されたなど眺めが消えた理由がわか
 ると作者の気持ちにより分かりやすくなる。

福津市 中 央 池浦千鶴子
 図書館の窓より見ゆる桜もみじひとときわ紅きが風に散りゆく
 図書館の窓からの光景というところに静けさと作
 者の個性が感じられる。

福津市 星ヶ丘 佐々木和彦
 米俵かつく役者の腰つきに偽りがあり重さがちがふ
 作者の目は鋭い、こんな視聴者がいると俳優も気
 がぬけない。

北九州市 戸畑区 田中ハツセ
 宗像の歌会に求めし一刀彫りの兎探し出す来年
 「来年の干支の兎の一刀彫を探す」で一首、さらに
 「宗像の歌会の折に一刀彫を買った」でもう一首と、
 二首に分ける方法も考えられる。

福岡市 南区 井田有久衣
 デイケアの今日の運動会スタッフは皆ハッスルし勝負をきそう
 デイケアに通う作者が詠んだ若いスタッフの楽し
 げな様子。作者の心弾みが伝わってくる。

福津市 若木台 野間 精一
 天霧ひ黄砂の吹きて宗像は昨日も今日も干し物出せず
 万葉風の枕言葉に始まり干し物に落ち着く面白
 さ。黄砂は吹くよりも飛ぶでは。

宗像市 田 野 森 甲子
 夜半雨止みて見上ぐる湯川山黄櫨の紅葉のあちらこちらに
 色彩感のある景。初句と三句に助詞がなく切れた
 感じがするので、初句(夜半の雨)としては。

宗像市 田 久 巻 桔梗
 たはむれに草の実投げし池の面に鯉あらそへばわがころ恥づ
 結句に繊細で誠実な人柄が出ている、作者ならで
 はの一首。

北九州市 八幡西区 吉田ウト子
 岬回(さか)に雷雨兆せば船虫のさつと散りゆく岩陰の窟
 観察力のある作者。雷雨の兆しを雷鳴など具体で
 書けばさらに臨場感が出る。

宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子
 つぎ目無き雲の一部がひび割れてふいに落ちくる大粒の雨
 劇的な一瞬。「ひび割れ」は雲には硬くないか、裂け
 る、千切れるなどの表現も考えられる。

宗像市 日の里 大和美由紀
 みずうみの見晴らし台は野うさぎの遊び場なるか小さき足あと
 童話的な歌。四句なるかは(なるや)(なるらし)で
 も。結句は(足あとと残る)としたい。

宗像市 大 島 杉田 禮子
 高台の寺に上りて朝焼けの玄界の海しばし眺むる
 気分の良い景。三四句と結句を入れ換えると海の
 朝焼けが強調されるだろう。

選者詠
 たまねぎの乾べる外の一枚をむけばあらはる未読の白さ
 ガラス製一輪挿しの水のなか薔薇の茎たつその緑濃く

第五六八回 俳句作品集

宗像市 平井 占部 詩子
 許斐嶺の近き朝や布団干す
 宗像市 日の里 花田いつ枝
 裾を曳く巫女の衣擦れ七五三

10日 恵比須神社祭 午前11時	1日 元旦祭 午前7時 総社地主祭 午前9時 総社祭引き継ぎ 午後 総社祭に引き継ぎ 高宮地主祭 高宮祭・第三宮祭 末社祭
13日 献米奉告祭 午前11時	2日 新年二日祭 午前9時
15日 月次祭(成人祭) 午前10時 高宮祭 午前11時 第二宮・第三宮祭 午後 総社祭・成人祭	3日 新年三日祭 午前9時 宗像護国神社新年祭 午前10時

編集後記 年末に発表され
 た「書」でした。揮毫された京都・清
 水寺の森清範管主が当大社に参拝
 されたのが六月(団結力)で国中を
 熱狂させたサッカーワールドカッ
 プもありました。当地では八月二十
 一日に観測史上最高の37.2℃を記
 録しました▼さて、本年は辛卯です。
 辛(か)とは植物が枯れて新しく
 生まれよとする状態。卯(うさぎ)
 は一年に三〜四回も出産を行います▼
 孫繁栄や五穀豊稔を象徴します▼
 多事多難な寅年であっただけに、政
 治、経済の改変をイメージしがちで
 すが、それはさておき、その穏やか
 な表情や何事も良い方向へ導くと
 される跳躍力に期待します。本年も
 よろしくお願ひ申し上げます。(塚)

発行所 宗像大社社務所 宗 像 会

〒811-3505 福岡県宗像市田島
 電話 0940-62-1311(代)
 発行人 藤津幹之
 編集人 大塚宗延
 制作 せねらるアサヒ
 印刷 せねらるアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共1,000円